

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人体の構造と機能及び疾病 Human Body Structure, Function, and Illness		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
和田晴美	福祉棟2F	月・火・水・木の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
この授業では、日頃何気なく営んでいる生活行動は、「からだ」がどのように機能してなされているかという点に着目する。まず人間の成長と発達から始まり、正常なからだの構造と機能を理解したうえで、生活障害に繋がる疾病や障害、国際機能分類（ICF）とリハビリテーションについて学ぶ。				
授業の目標				
①人の成長と発達の段階と特徴を、説明できるようにする。 ②人体を構成する臓器の名称、構造、機能を説明できるようにする。 ③からだの構造や機能と、日常生活行動の関連を説明できるようにする。 ④主な疾病と障害の原因、症状、治療方法を列挙できるようにする。				
授業の方法				
講義中心であるが、「疾病の概要」は分担して、個人による学習（課題の調査、資料作成、発表）を行う。また、この発表を通して重要事項の共通理解を深めることとする。				
学習の成果（学習成果）				
①人の成長と発達、老化の過程や人体の構造と機能の概要を説明することができる。 ②疾病や障害の概要をふまえ、対応時の留意点を明確にすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明） 人の成長と発達①			
第2回目	人の成長と発達②			
第3回目	図書館で文献調査 担当した病気について ①概要 ②症状 ③診断・検査 ④治療 ⑤予後 ⑥留意点等をまとめる 詳細は授業で説明 <課題 第6回に提出>			
第4回目	心身機能と身体構造の概要① 人体各部の名称（筋、骨、関節）			
第5回目	心身機能と身体構造の概要② 動く 体内の循環			
第6回目	心身機能と身体構造の概要③ からだを守る 息をする			

第7回目	心身機能と身体構造の概要④ 食べる トイレに行く 見る・聞く・感じる
第8回目	心身機能と身体構造の概要⑤ 考える ホルモン調整とストレス
第9回目	疾病・障害の概要① 生活習慣病 悪性腫瘍 脳血管疾患 心疾患 (小テスト①)
第10回目	疾病・障害の概要② 内分泌系疾患 呼吸器系疾患 血液系疾患
第11回目	疾病・障害の概要③ 消化器系疾患 腎・泌尿器系疾患 骨・関節系疾患
第12回目	疾病・障害の概要④ 感覚器系疾患 感染症 神経系疾患と難病 先天性疾患
第13回目	疾病・障害の概要⑤ 知的障害 発達障害 精神障害 認知症
第14回目	疾病・障害の概要⑥ 肢体不自由 高次脳機能障害 内部障害
第15回目	国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方 リハビリテーションの概要 授業のまとめ (小テスト②)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	教材の準備状況、授業への集中力で評価する。評価基準Sは、毎回授業への準備（テキスト、ノート等）をし、授業中は集中して聴き、必要なことはノートにとっていること。積極的に参加していること。
レポート		
調査報告書	20%	「疾病の概要」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準Sは、課題をよく理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい資料を作成し、期限を厳守して提出すること。
小テスト	60%	授業の振り返りとして、第9回目、15回目に小テストを行い解説をする。語彙選択問題、文章を読み正しいものに○誤っているものに×を付けたときの、組み合わせの選択問題（5者択一）、○×選択問題等である。
試験		
発表内容（態度含む）	10%	分担された課題について調べた内容を発表する。評価基準Sは、発表が分かりやすく、他者をひきつけるような内容であること。わからないことは理解できるまで検討していること。質問に対して的確に答えられること。
その他		

教科書と参考図書

- ①新・社会福祉士養成講座 第1巻 人体の構造と機能及び疾病 中央法規出版
 ②坂井建雄著 ぜんぶわかる人体解剖図 成美堂出版

履修上の留意点・ルール

この科目は「社会福祉士国家試験」受験における必修科目である。また、社会福祉主事任用資格の該当科目でもある。講義・文献調査ともに積極的に参加することを望む。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。